

平成28年度
第24回

静岡県図書館大会

伝えよう 図書館の力 広げよう 新たな可能性

◆ 開会式・表彰式・情勢報告 9:45~10:40

情勢報告 公益社団法人 日本図書館協会副理事長 山本 宏義 氏

◆ ライブトーク・諸連絡 10:50~12:45

「図書館の意義、本の意義とは? ~災害時の図書館をきっかけに~」

パネリスト 佐藤 健二 氏 (東京大学大学院人文社会系研究科教授)

塚田 薫代 氏 (静岡県立こども病院医学図書室 医学司書
ヘルスサイエンス情報専門員上級)

コーディネーター 石井 正己 氏 (東京学芸大学教育学部人文社会科学系教授
一橋大学大学院連携教授)



◆ 分科会 13:45~15:45

① 図書館サービス

「いま、あらためて「貸出サービス」の意義を考える

~「ベストセラー貸出」批判と図書館の基本的な役割~」

② 幼児・児童に対するサービス

「子どもと楽しむ科学絵本~科学絵本をもっと身近に~」

③ 子どもの読書活動

「読む力が未来をひらく

~子どもに本を手渡すために大人ができること~」

④ 図書館とユニバーサルデザイン

「図書館の「顔」はこれでいいのか

~魅力を伝えるホームページの条件~」

⑤ 学校図書館

「学校図書館発! 授業で使える情報ファイルの作り方」

⑥ 大学図書館

「NIIと大学図書館との連携・協力について ~NIIの学術コンテンツ事業の動向~」

《日程》

9:20~9:45	受付
9:45~10:40	開会式・表彰式・情勢報告
10:40~10:50	休憩
10:50~12:45	ライブトーク・諸連絡
12:45~13:45	休憩・昼食
13:45~15:45	分科会

平成28年11月7日(月) 9:45~15:45

受付 9:20~9:45 参加無料

静岡県コンベンションアーツセンター **グランシップ**

参加申込締切日: 10月6日(木) ※ 第3分科会は10月20日(木)

主催: 静岡県教育委員会・静岡県図書館協会・静岡県読書推進運動協議会

※ ライブトークと第3分科会は、磁気テープと手話翻訳があります。

ライブトーク

「図書館の意義、本の意義とは？」

～災害時の図書館をきっかけに～

図書館や本がなぜ必要なのか。この問いに対する答えは、災害時にこそ顕在化します。震災時に図書館の果たした役割をきっかけに「心の豊かさ」「癒やし」を超えた図書館や本の意義について皆さんと考えます。

パネリスト

佐藤 健二（さとう けんじ）氏 <東京大学大学院人文社会系研究科教授>

1957年群馬県生まれ。専門は社会学。東京大学文学部卒業、東京大学大学院社会学研究科修士課程修了。博士（社会学）。法政大学を経て、1994年から東京大学文学部助教授、2000年に大学院人文社会系研究科文化資源学専攻を併任、2005年から現職。単著に『読書空間の近代』（1987）、『流言蜚語』（1995）、『社会調査史のリテラシー』（2011）、『ケータイ化する日本語』（2012）、『論文の書き方』（2014）、『柳田国男の歴史社会学』（2015）、『浅草公園凌雲閣十二階』（2016）などがある。

塚田 薫代（つかだ しげよ）氏 <静岡県立こども病院医学図書室 医学司書 ヘルスサイエンス情報専門員上級>

1960年静岡市生まれ。国立図書館短期大学（筑波大学図書館専門情報学群の前身）卒業後、日野市立図書館就職、岡崎市立図書館等を経て1993年より現職。医学図書室の傍ら入院中の子どものための「わくわくぶんこ」を1996年より主宰。また患者へ医学情報を提供する患者図書サービスにも力を注ぐ。2010年より当年までJMLA（日本医学図書館協会）健康情報WGメンバー。共著に『やってみよう図書館での医療・健康情報サービス』（JMLA）

コーディネーター

石井 正己（いしい まさみ）氏 <東京学芸大学教育学部人文社会科学系教授 一橋大学大学院連携教授>

東日本大震災後、『震災と語り』（2012年）、『震災と民話』（2013年）、『昔話を語り継ぎたい人のために』（仮称、2016）で、このつらい体験を未来に生かす方法を考えた。地元の東京では、『文豪たちの関東大震災体験記』（2013年）で、災害文学という概念を提案した。伊東市宇佐美の小学生が書いた関東大震災の作文を分析した論文もある。岩手・宮城・福島各県はもとより、国内外で震災に関する講演を続け、新聞や雑誌に寄稿してきた。

各分科会のテーマ及び概要

< 第1分科会 図書館サービス（定員120人）>

「いま、あらためて「貸出サービス」の意義を考える

～「ベストセラー貸出」批判と図書館の基本的な役割～

講師 田井 郁久雄氏（元広島女学院大学准教授）

図書館と出版界の論争は、「図書館のあり方」論議にも影響を及ぼしてきました。図書館の新しい役割が主張される一方で、基本的なサービスである「貸出」への取り組みは消極的になりつつあります。貸出実績が減少するいま、「貸出サービス」の意義についてあらためて考えます。

< 第2分科会 幼児・児童に対するサービス（定員180人）>

「子どもと楽しむ科学絵本 ～科学絵本をもっと身近に～」

講師 ^{つかはら ひろし} 塚原 博 氏（実践女子大学教授）

子どもたちと本を結びつける読み聞かせなどに科学絵本を使っていますか？「科学絵本はちょっと苦手」という方のために、実践女子大学教授の塚原博氏が、子どもたちの好奇心に応え、科学の世界に誘う科学絵本について、おすすめの絵本を紹介しながらお話しくたさいます。

< 第3分科会 子どもの読書活動（定員500人）>

「読む力が未来をひらく ～子どもに本を手渡すために大人ができること～」

講師 ^{わき あきこ} 脇 明子 氏（ノートルダム清心女子大学名誉教授、岡山子どもの本の会代表）

子どもの成長にとって、読書は「生きる力」を育てる大切なものです。子どもたちが読書の本当の喜びを感じられるために、子どもと本に関わる大人は何ができるのでしょうか。子どもの読書について数々の著作をお持ちの脇先生からお話を伺います。

< 第4分科会 図書館とユニバーサルデザイン（定員70人）>

「図書館の「顔」はこれでいいのか ～魅力を伝えるホームページの条件～」

講師 ^{にかみ こうじ} 仁上 幸治 氏（図書館サービス計画研究所(トサケン)代表）

あなたの図書館の魅力、うまく伝えられていますか？図書館最強のPRツールであり、厄介者でもある「ホームページ」とどう向き合えばいいのでしょうか？当分科会では、『図書館員のためのPR実践講座』の著者が、発表者との対談形式で実際のホームページ事例について良い点・要改善点をズバリ指摘します。（事前アンケートがありますので、御協力をお願いします。）

< 第5分科会 学校図書館（定員92人）>

「学校図書館発！ ～授業で使える情報ファイルの作り方～」

講師 ^{ふじた としえ} 藤田 利江 氏（江戸川区教育委員会事務局指導室 学校図書館スーパーバイザー(SLS)）

学校司書の法制化から2年。学校図書館が授業で活用されるためには、資料の充実が欠かせません。社会にあふれる情報の中から授業に役立つ情報を集め、情報ファイルとして活用するノウハウや授業例、作り方など、情報ファイルのA to Zを、その道の達人藤田先生から学びましょう。

受講者は、当日、はさみ、のり、定規（短い物でよい）、新聞（3～5日分、あれば小学校新聞、スポーツ紙は不可）、1リットルの紙パック2つ（切り開いてリサイクルに出す状態のもの）をお持ちください。

< 第6分科会 大学図書館（定員70人）>

「NIIと大学図書館との連携・協力について ～NIIの学術コンテンツ事業の動向～」

講師 ^{よしだ ゆきなえ} 吉田 幸苗 氏（国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 副課長）

平成28年度はNACSIS-CAT再構築の構想が示され、オープンアクセスリポジトリ推進協会も設立されるなど、NIIと大学のかかわりもより密接な連携・協力が必要になります。NII学術コンテンツ事業のあり方や今後の動向について、国立情報学研究所の吉田幸苗氏にお話を伺います。



< 参加申込 >

下記の参加申込書に必要事項を御記入の上、平成28年10月6日(木)までに、郵送・FAX または静岡県立中央図書館カウンターでお申し込みください。ただし、第3分科会に限り、10月20日(木)まで受け付けます。また、静岡県立中央図書館ウェブサイト及び下のコードよりスマートフォンからもお申し込みできます。

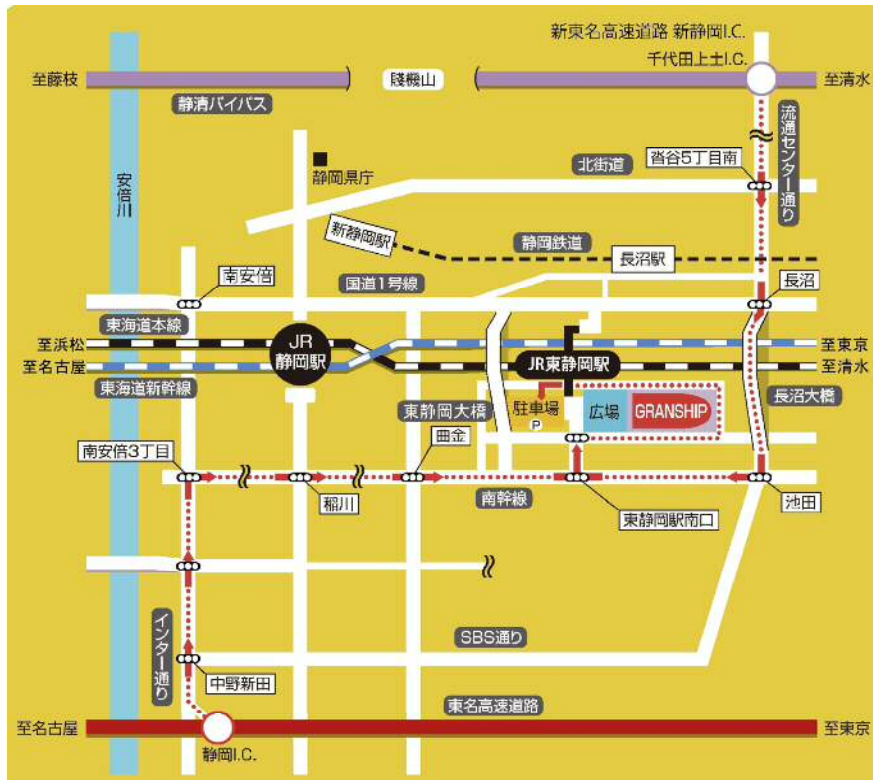
- ★ 分科会への参加受付は先着順になります。必ず第2希望まで御記入ください。第2希望になる場合は、静岡県立中央図書館から連絡いたします。
- ★ 分科会の会場は当日の配布資料、掲示にて御案内いたします。
- ★ 当日は大会資料受付までお越しください。
- ★ 昼食用の弁当(お茶なし・税込500円)を希望される場合は、大会当日、弁当受付へ午前9時45分までに直接お申し込みください。なお、グランシップの各会場への缶飲料の持込みは禁止されています。
- ★ 有料駐車場がありますが、当日は混雑が予想されますので、できる限り公共交通機関を御利用ください。

参加申込書送付先

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-1 静岡県立中央図書館 企画振興課振興係
TEL: 054-262-1246 FAX: 054-264-4268



< 会場案内図 >



..... キ リ ト リ

平成28年度 第24回 静岡県図書館大会 参加申込書

氏名 (カタカナでご記入ください)		所属 (図書館・学校・団体名等) *個人参加の場合記入不要		
電話番号	ライブトーク参加希望	分科会参加希望		種別
	有・無	第1希望	第2希望	図書館職員 (公共・大学専門) 学校 (教職員・学校司書)・一般 ボランティア・読書グループ その他 ()
第1希望の分科会で聞いてみたいこと				